●春日部市民文化講座（第 17 回）

◆日　　時：2015 年 10 月 7 日(水) 10 時（ぽぽら春日部 4 階会議室）～11 時

◆テ ー マ：講演「桐箪笥を通しての人生ドラマ」

講師：島田 利雄さん（桐箪笥職人）

◆ゲスト紹介:《前掲と同じ》

■桐箪笥の歴史

春日部桐箪笥の歴史は、前回お話しさせていただきましたように、江戸時代に入ってすぐに桐箪笥が造られ始めたと認識しており 400 年続いてきたものです。

■春日部から発展した家具業者

春日部から発展した家具業者として大塚家具、島忠家具があります。大塚家具の先代社長の勝久さんは私の姉と同級生ですし、私の家と島忠家具さんとは長い付き合いもありました。私の家は先日まで島田仁三郎商店という屋号で商売をやっておりましたが、仁三郎という人は、松伏町から赤沼の小箱屋に職人として婿に来ました。その利三郎は非常に器用だったものですから、兄弟を職人にし、弟子を 30 人くらい育てて小箱で生計を立て、発動機を使って材料の加工を行い大量生産を始めました。その後、箪笥屋を興してたくさんの材料や製品を運ぶようになりました。赤沼では不便なので、運搬に便利な春日部駅近くに出張所を出しました。大正時代に春日部駅の近く、昔、尾張屋(のちのニチイ)があった辺りに出張所を出し、暫くして住み込むようになりました。この仁三郎という人は腰が低くて、多くのお客様が集まってくるのですね、仁三郎は、箪笥造りでも長けていたようで、私が都内で展示会の時に「島田仁三郎さんを知っていますか」と聞かれ、顔が広かったことが分かりました。昭和になっても、山田さんのお祖父さんや大塚さんの先々代、島忠さんなどさまざまな方が私の家に来られて、我が家が情報の交換場所のようになっていました。戦前から戦後まで我が家は箪笥製品と材料を扱っていましたので、仕入れをしながらさまざまなことを決めていくようなことをしていました。ただ、高度経済成長が止まると、家具業界は厳しい時代を迎えるのですが、中でも桐箪笥には戦前から物品税が掛けられていて厳しさを増していました。この物品税がなくなったのは消費税が導入された平成元年のことでした。

■私の商売と病気

私の家は仁三郎が業界の仕事をしていましたのでいろいろな方とのお付き合いがあり、家督とお付き合いが父親に譲られました。私の父親は島田政吉といいますが、20 代に国会等に陳情に行き、政治に目覚めました。政治家といっても市議会議員なのですが、4 期やり 3 回ほど落ちて落選の憂き目もみました。そんな父親を見ていて私は選挙とは難しいなぁと思いました。父親は 70 歳になる前に亡くなりましたが、母親が私が 40 歳になる前に亡くなり、私が 40 歳で脳卒中を患ったものですから、我が家の行く末を心配して良くこぼされたものです。私の病気の原因は、ハードな生活をしていたからなのですが、病気をする前に春日部青年会議所の理事長と埼玉県商工会青年部の会長を一緒にやっておりまして、全国組織の役員をすると参議院議員の候補者になるという噂もあり面白いと思っていたのですが、その前に病気になってしまい夢は潰えました。それでも理事長や会長職を終えてから病気になったものですから、周りに迷惑を掛けずにすみました。迷惑を掛けましたのは、女房と家族、それと仕事上でお付き合いのあった方々ですね。

■希望というものは、自分が描ければ必ず実現できる

青年会議所は 20 歳から 40 歳までが構成員になるのですが、いろいろと経験させていただきました。一番大きな経験は、21、22 歳で青少年委員長をさせていただき、春日部駅から郵便局のところまでを歩行者天国にしまして、NHK の「ヤング 101」という番組を呼んで 1 万人のヤングフェスティバルを開いたことです。その時には青年会議所にいらした高橋牧師さんにもいろいろとお手伝いをいただきました。その時に、**「希望というものは、自分が描ければ必ず実現できるのだ」**ということを実感いたしました。その思いが、後に桐箪笥組合を作り、伝統的工芸品の産地認定を国から受けるときの原動力になり、組合を作る時に先輩に対しても「夢が描ければ必ず実現できるのだから、俺についてきてくれよ」と言っていました。

■苦しい生活を越えて！

私は希望を叶えて桐箪笥組合を結成したのですが、私が病気になったので、父親が将来の生計を心配して母屋を曳き家して、跡地にマンションビルを建ててくれました。その方角が原因で私の病気になったのではないかと言う人もいましたが‥。このマンションビル建設が、その後の生活でさまざまなトラブルになったのですが、諦めない心を持っていたことで何とか乗り切ることができ、皆様の前でこうしてお話ができるようになりました。

今回は島田さんが大変なご苦労を乗り越えられたお話を伺うことができました。お元気になられて良かったです。